

生徒の自主的な活動「ROKUGO TIME」

～仙台市立六郷中学校～



六郷中学校は、若林区六郷地区に位置し、広々とした田園風景と住宅地が調和する地域にあります。

校名は、かつてこの地に存在した「六つの郷(村)」に由来し、地域の歴史と文化を受け継いでいます。生徒は地域とのつながりを大切にしながら、成長しています。

【ROKUGO TIME とは？】

六郷中学校では、毎週水曜日の午後を「ROKUGO TIME」と称して、生徒自身の自主的な活動の時間としています。活動内容は、地域ボランティアへの参加、学級課題等の解決に向けた会議、自主学習、部活動となっており、生徒主体で行っています。

今回取材をした地域ボランティアについては、令和7年10月時点で地域の7施設（幼稚園・保育園、介護老人保健施設等）がこの活動に協力しており、生徒たちの活躍の場や多様な人の関わりの場の提供に寄与しています。

子どもの声

自分たちのできることで地域の役に立ちたい！

ROKUGO TIME で地域ボランティア活動をしている様子

【施設に設置する毛糸壁画制作のお手伝い】



【地域の幼稚園で園児の遊び相手や紙芝居朗読】



○今までボランティアに参加しようと思えなかったけど、学校が参加する機会を作ってくれたことで参加してみたいと思いました。ボランティア活動に参加し、地域の人と関わるようになったことで、地域活動にも貢献できていると感じることができました。

○幼稚園ボランティアで、先生たちに「中学生はこどもたちのお世話がほんとに上手だね」と言ってもらいました。うれしかった。また、こどもたちと一緒に遊び、自分にもこんな事ができるんだという自分の新たな一面を知ることができて良かったです。

地域の声

少しでもこどもたちの成長の力になれたらうれしい。



介護老人保健施設 春風のころ

支援相談員 大谷 勝平 さん

地域ボランティア活動に協力している介護老人保健施設の大谷さんは、「施設に若い学生が来られる機会が少なかったため、入所者の方々もこどもたちと関われる機会があるとうれしそうにしており、施設としてもありがたいと感じています。また、中学生のみなさんはグループで参加していただくことが多く、一つの仕事をお願いすると、自主的に細かい役割を自分たちで決めながら取り組むなど、仕事に対して積極的な姿勢がよく見られます。この活動を通じて、こどもたちの成長の一助になればと思っています。」と話します。

こどもたちの一生懸命な姿を見ているからこそ、地域としてもこどもたちの成長を支えたいという強い思いを感じました。

学校の声

多くの交流を通じて、こどもたちには成長してほしい。

【校庭の整備】



六郷中学校の地域連携担当の吉川教諭は、地域との交流活動について、「学校生活以外の体験活動を通じて、多様な生活環境にある生徒の自己肯定感とコミュニケーション能力を向上させるとともに、自身の存在価値に気付かせ、自身の生活をより良いものにする力を身に付けさせることが大切です。このような観点も踏まえながら、異学年、様々な立場にある人との交流活動を行ったことで、生徒たちに他者を思いやる気持ちが育成されてきていると感じています。学校生活においても生徒同士が思いやりの心を持って生活できるようになってきていることで、いじめの未然防止につながっているのではないかと考えています。」と話しています。



地域との多くの交流の場が、こどもたちの優しい心の醸成につながっているのだろうと思います。

【まとめ】

令和7年度から始まった「ROKUGO TIME」の取組を通じて、こどもたち自らが新しいことに挑戦することによる主体性の育成につながっているとともに、地域の力になれるこどもたちへの喜びや充実感を実感している様子が見られました。また、地域の方々にとってもこどもたちがより身近な存在となり、お互いに顔の見える関係性が構築されるなど、地域全体にも好循環が生まれていました。

これからも、こどもたちが健やかな成長と地域の活力の原動力となるよう、六郷中学校と地域の協働は続いていきます。



仙台市立六郷中学校 HP